



令和 5 年 3 月 17 日

自動車局車両基準・国際課

第 27 回 自動車安全技術国際会議（ESV 国際会議^{*1}2023）の開催！**～20 年ぶりの日本開催・ESV 国際会議 50 周年～**

国土交通省は、米国運輸省道路交通安全局及び経済産業省との共催で、第 27 回自動車安全技術国際会議（ESV 国際会議）を、4 月 3 日から 6 日にかけて、横浜市（パシフィコ横浜ノース）で開催します。

子どもや高齢者といった交通弱者保護の安全技術や自動運転や人工知能の先進技術等について発表や議論がされるほか、国土交通省、自動車メーカー等による展示、デモが行われます。

*1 ESV 国際会議（International Technical Conference on the Enhanced Safety of Vehicles）は、世界規模で開かれる唯一の自動車安全に関する国際会議であり、通常 2 年ごとに米国、日本、欧州諸国等において開催している。第 26 回は令和元年（2019 年）にオランダ・アイントホフで開催し、第 27 回は令和 3 年（2021 年）に横浜市で開催予定であったが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い開催を 2 年延期。前回の日本開催は、第 18 回として平成 15 年（2003 年）に名古屋市で開催。第 1 回は 1971 年にフランス・パリで開催。

国土交通省は、米国運輸省道路交通安全局及び経済産業省との共催で、第 27 回自動車安全技術国際会議（ESV 国際会議）を、4 月 3 日から 6 日にかけて、横浜市（パシフィコ横浜ノース）において開催します。

今回の ESV 国際会議は、「次の 50 年に向けたすべての人のための先進的で公平な車両安全」をテーマとして、子どもや高齢者といった交通弱者保護の安全技術や自動運転や人工知能の先進技術等について発表や議論が行われます。

また、本会議の間、国土交通省から自動車技術安全行政施策に関するパネルや自動車アセスメントの試験車両の展示を行うほか、自動車メーカー等による展示、安全機能体感試乗会、テクニカルツアー、学生安全技術デザインコンペティションも行われます。

今回の会議には、各国の政府機関、研究機関、産業界等から多数の参加を見込んでいます。会議の詳細については、第 27 回 ESV 国際会議ホームページをご覧ください。

会議の開会式、展示等の取材やロゴ使用については ESV 国際会議運営事務局までお問い合わせください。

【第 27 回 ESV 国際会議ホームページ（英語サイトのみ）】

<https://www.27esv.org/index.html>



【第 27 回 ESV 国際会議ロゴ】

別紙：第 27 回 ESV 国際会議（ESV2023）開催概要

【問合せ先（会議全般）】

自動車局 車両基準・国際課 山田、井島

電話：03-5253-8111（内線 42504、42524）

03-5253-8604（直通）

【会議の取材、ロゴ使用に関する問合せ先】

○ 第 27 回 ESV 国際会議運営事務局

27esv[at]c-linkage.co.jp

（[at]を@に変更して送信して下さい）

○ 会議の取材申込先

https://www.27esv.org/contents/press_reg.html

第 27 回 ESV 国際会議 (ESV2023) 開催概要

【会 期】令和 5 年 4 月 3 日 (月) - 6 日 (木)

(テクニカルツアー：4 月 6 日 (木) 午後, 7 日 (金))

【会 場】パシフィコ横浜ノース

【主 催】米国運輸省道路交通安全局 (NHTSA) , 国土交通省, 経済産業省

【協 賛】公益社団法人自動車技術会 【事務局】一般財団法人日本自動車研究所

【開会式】4 月 3 日 9:30~11:45

- 開会挨拶
- ESV 米国政府表彰授与式 (自動車安全への貢献や研究等での功績に対する表彰)
 - ・ 特別賞 (Special Award of Appreciation)
日本から 2 名ノミネート
 - ・ 安全技術優秀賞 (Award for Safety Engineering Excellence)
日本から 4 名ノミネート
- 政府ステータス報告 (自動車安全政策の状況に関する各国政府の発表)

【展示場オープニングセレモニー】4 月 3 日 11:45~12:00

- リボンカット
 - ・ Ann Carlson 米国運輸省 道路交通安全局局長代理
 - ・ 高橋理和 ESV 推進委員会 委員長 (一般財団法人日本自動車研究所)
 - ・ 野津真生 国土交通省 自動車局次長
 - ・ 藤本武士 経済産業省 大臣官房審議官 (製造産業局担当)

【パネルセッション】

- プレナリー・パネル・セッション (テーマ：エイジング・ソサエティ) 4 月 3 日 13:00-14:30
モデレーター： Ibrahim Sow (カナダ運輸省)
スピーカー： Anne E. Dickerson (イースト・カロライナ大学)
Pierre-Olivier Milette (欧州自動車工業会 (ACEA))
吉澤隆 (日産自動車)
野津真生 (国土交通省)
- スペシャル・セッション① (テーマ：サイバー・セキュリティ) 4 月 3 日 15:00-16:00
モデレーター： Cem Hatipoglu (米国道路交通安全局)
スピーカー： 新国哲也 (交通安全環境研究所)
Andre Smulders (オランダ応用科学研究機構)
Josh Davis (トヨタモーターノースアメリカ)
Norma M. Krayem (Van Scoyoc Associates)
- スペシャル・セッション② (テーマ：セイフティ・システム・アプローチ) 4 月 3 日 16:30-17:30
モデレーター： Tim Johnson (米国道路交通安全局)
スピーカー： Hyoung Gu Kim (韓国自動車試験研究所)
Derece Smither (心理学者)
Cecilia Sunnevang (オートリブ株式会社)

【ランチ・セッション】

○ テーマ①先進安全システムの使用過程の安全性 4月4日 13:00-13:45

スピーカー：須田義大（東京大学大学院生産技術研究所）

○ テーマ②サイバー物理システムの自律性の確保

スピーカー：Sandeep Neema（ヴァンダービルト大学）4月5日 13:00-13:45

【テクニカル・セッション】

日付	トラック A	トラック B	トラック C
4月4日（火） 8:30～12:30	交通弱者や子ども乗員の保護	前面衝突・後面衝突事故時の移動者の安全性	衝突回避のためのアクティブセーフティシステム（新システム・技術）
4月4日（火） 14:00～18:00	実験/コンピュータシミュレーション解析手法を用いたバイオメカニクス/人的傷害研究の進歩	側面衝突・ロールオーバー事故時の自動車の安全性	運転自動化システム（①進展状況、②安全性評価、③実用化への課題）
4月5日（水） 8:30～12:30	衝突試験用人体ダミー、計測装置、およびデータ解析技術の進歩	最先端の自動車安全統合技術	ADAS・ADS 技術におけるヒューマンファクターの検討
4月5日（水） 14:00～18:00	学生自動車安全技術デザインコンペティション：最終口頭発表	ユーザー視点に基づく自動車安全性能の向上のためのアプローチ	人工知能・機械学習技術の自動車安全対策への応用・課題
4月6日（木） 8:30～12:30	ADS 搭載車（SAE レベル 3,4,5）向け安全性評価手法の策定と適応	衝突時の乗員拘束装置の設計・性能向上に関する挑戦（幅広い年齢/身長差および性差といった幅広いニーズへの対応）	最先端の実交通データの収集・分析・便益評価手法

【展示場】4月3日 12:00～17:30、4・5日 9:30～17:30、6日 9:30～12:30

- ・ Additium Technologies
- ・ Applied Institution
- ・ Applus IDIADA
- ・ Autoliv Japan Ltd.（オートリブ株式会社）
- ・ Automotive Coalition for Traffic Safety, Inc. (ACTS)
- ・ Cellbond
- ・ DAIHATSU MOTOR CO., LTD.（ダイハツ工業株式会社）
- ・ Department of Transportation/NHTSA（米国運輸省道路交通安全局）
- ・ Honda Motor Co., Ltd.（本田技研工業株式会社）
- ・ HORIBA, Ltd.（株式会社堀場製作所）
- ・ ISUZU MOTORS LIMITED（いすゞ自動車株式会社）
- ・ Japan Automobile Research Institute（一般財団法人日本自動車研究所）
- ・ JASTI Co., LTD（株式会社ジャスティ）
- ・ KYOWA ELECTRONIC INSTRUMENTS CO., LTD.（株式会社共和電業）
- ・ Mazda Motor Corporation（マツダ株式会社）

- ・ Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (国土交通省)
 - ・ Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. (三菱重工業株式会社)
 - ・ Mitsubishi Motors Corporation (三菱自動車工業株式会社)
 - ・ National Agency for Automotive Safety and Victims' Aid (NASVA:独立行政法人自動車事故対策機構)
 - ・ National Traffic Safety and Environment Laboratory (NTSEL:独立行政法人自動車技術総合機構交通安全環境研究所)
 - ・ Nissan Motor Co., Ltd. (日産自動車株式会社)
 - ・ SUBARU CORPORATION (株式会社 SUBARU)
 - ・ Suzuki Motor Corporation (スズキ株式会社)
 - ・ TOYOTA MOTOR CORPORATION (トヨタ自動車株式会社)
 - ・ VBOX JAPAN Inc. (VBOX JAPAN 株式会社)
 - ・ ZF Friedrichshafen AG
- ※ アルファベット順

【自動車安全機能体感試乗会（トヨタ自動車）】

4月3日 12:00～17:30、4・5日 9:30～17:30、6日 9:30～12:30

- パーキングサポートブレーキ（静止物）
- プラスサポート（急アクセル時加速抑制機能）

【テクニカルツアー】※先着申込順

- 4月6日（木）午後 デンソー Global R&D Tokyo, Haneda
- 4月7日（金）終日 トヨタ自動車 東富士研究所
- 4月7日（金）終日 日産自動車 ニッサンインテリジエントファクトリー

【参加登録等】

第27回 ESV 国際会議ホームページ（英語サイトのみ）

<https://www.27esv.org/index.html>